令和5年度 年間授業計画								田無工科高等学校							
教科・科目 工業			建築計画					単位数			2				
対象学年・組 2 学年建築科		教科担任			!	AA、AB:田中									
	教科書			工業749	建築計	画(実教出	出版)								
	• 副教材			必携	建築資料	実教出	版)								
L			の目的:												
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】]	【学びに向かう力、	人間	門性	等】				
工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。							よりよい社会の構築を 学び、工業の発展に主 的に取り組む態度を養	体的							
	科目	建築計画			の目的) :									
		【知識及び技能】		【思考力、	判断力、	表現力等]	【学びに向かう力、	人間	門性	等】				
画る	等に関するとともに、	, 住宅の計画、各種建築物の計る基本的な知識と技術を理解す、建築物を合理的かつ創造的にを身に付けるようにする。	野の知に基づ	口識・技術	を活用し、	て、科学的	な根拠	建築計画の各分野に興 ち、環境に配慮した安 築物を計画する力の向 て、主体的に学習に取 養う。	全て 上を	·快 · 目	適た指し	な建 ン			
	単			指導項	10日・内容	 }		評価規準	知	思	態	時数			
	ニバーサル社 【思考力、半 上記の課題に に付けさせる 【学びに向か	議や過程をはじめ、地球環境への配慮やユニ会の実現等の課題について理解させる。 断力、表現力等】 いいて思考・判断し、表現できる能力を身 いう力、人間性等】 ・興味・関心をもたせ、意欲的に学習に取り	・指導事項日本および世界の建築計画の歴史や、地球環境と建築計画のかかわりについて、わかりやすく説明し、建築に対する興味・関心を高めるようにする。			慮やユニバ 解ししまっている 上記の身に付 上を外的に しまないに	意義や過程をはじめ、地球環境への配 (一サル社会の実現等の課題について理)。 間断・表現】 ほこいて思考・判断し、表現できる能 けている。 学習に取り組む態度】 ほに興味・関心をもち、意欲的に学習に	0	0	0	2				
	宅の性能、住理解させる。 【思解させる。 【思記の内さはに付びいる 【学の役せる 住宅の役のも 間や住宅の性	種類及び住宅を構成する基本的な空間や住 完計画の進め方のほか、計画上の特質等を 関方、表現力等】 ついて思考・判断し、表現できる能力を身	第1節 住宅の意義 第2節 住宅計画の進め方 ・指導事項 住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基 本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上 の特質について理解させる。 住宅地に建つ標準的な独立住宅の計画例を示 し、建築計画の進め方について理解させる。			間や住宅の 生の特別を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	・種類及び住宅を構成する基本的な空性能、住宅計画の進め方のほか、計画 を理解している。 断・表現] について思考・判断し、表現できる能 けている。 学習に取り組む態度] (割・種類をはじめ、住宅を構成する基 別や住宅の性能、住宅制画の進め方に関 計画上の特質等の理解に意欲的に取り	0	0	0	5				
1	定期考査										1				
- 学期	和 独	び技能】 の敷地計画、配置計画、平面計画、立面・断面 造・設備計画、デザイン・色彩計画の留意事項 、設計への具体化等を理解させる。 、判断力、表現力等】 意事項をはじめ、設計への具体化について思 し、表現できる能力を身に付けさせる。 向かう力、人間性等〕 留意事項に関心をもち、設計へ具体化していく 欲的に取り組む態度を養う。		第3節 全体計画 ・指導事項 独立住宅の敷地・配置・平面等の各計画にあたっての留意事項を示し、設計への具体化について理解させる。 ・一人1台端末の活用、グループ討議等			独面計解【上てる【計画との計算を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	【思考・判断・表現】 記の留意事項をはじめ、設計への具体化につい 思考・判断し、表現できる能力を身に付けてい			0	6			
	応したアコート にしたアリート にしたアリート にしたアリート にしたアコート にしたアコート にしたアコート にはないのも にはないのい。 にはない。 には	ニバーサルデザインに関する基本的事項とバリアフリー住宅 理解させる。 、表現力等】 計画の方法について思考・判断し、表現できる能力を身に付 ニバーサルデザインと住宅計画上の基準について思考・判断 力を身に付けさせる。	第5章 ・指導 独立住 ⁹ 規模等 室の計	事項 宅における各	リーと サルデザイ: 室の形状、 ぎまな条件! いて理解させ	形態、適正な こ対応した各 せる。	諸条件に対応いる ボリアーと ボリアーと 【独立住身でリーキ 出立住身でフリート がリオート はなける がリオート になった。 にな。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	室の形式・形態、適正規模、設備、位置等をはじめ、 した計画方法を理解している。 やユニバーサルデザインに関する基本的事項とバリ 計画上の基準を理解している。 ・表現] 恋の計画の方法について思考・判断し、表現できるf		0	0	6			

	定期考査						1
	【知識及び技能】 集合住宅の役割・種類をはじめ、計画上の特質等を理解している。 集合住宅の配置計画、平面計画、立面・断面計画の留意事項、設計への具体化等を理解させる。 【思考力、判断力、表現力】 集合住宅の計画上の特質や留意事項、設計への具体化等について思考・判断し、表現できる能力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 集合住宅の計画に関心をもち、設計への具体化に意欲的に取り組む態度を養う。	第3章 各種建築物の計画 第1節 集合住宅の計画 1.集合住宅の意義 2.全体計画 ・指導事項 集合住宅の目的や種類、使われ方のほか、敷 地・配置・平面等の各計画にあたっての留意 事項について理解させる。 ・一人1台端末の活用、グループ討議 等	【知識・技能】 集合住宅の役割・種類をはじめ、計画上の特質等を理解している。 集合住宅の配置計画、平面計画、立面・断面計画の留意事 項、設計への具体化等を理解している。 【思考・判断・表現】 集合住宅の計画上の特質や留意事項、設計への具体化等について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合性をの計画に関心をもち、設計への具体化に意欲的に取り組んでいる。	0	0	\circ	8
		第1節 集合住宅の計画 3. 各部の計画 ・指導事項 集合住宅の住戸を構成する各室の形式・形態、適正な規模等を示し、集合住宅の計画手法について理解させる。 ・一人1台端末の活用、グループ討議 等	【知識・技能】 集合住宅の各室の形式・形態、適正な規模、設備、配置等をはじめ、さまざまな条件に対応した 各室の計画の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 集合住宅の各室の計画の方法について思考・判断 し、表現できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合住宅の各室の計画に意欲的に取り組んでいる。 る。		0	0	7
2	定期考査						1
学期	【知識及び技能】 事務所の役割・種類、計画上の特質や配置計画、平面計画、立 面・断面計画の留意事項、設計への具体化等を理解させる。 事務所の各室の形式・形態、適正な規模、設備、配置等、様々な 条件に対応した計画方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力】 上記の特質、留意事項、各室の計画や設計への具体化等について 思考・判断し、表現できる能力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 事務所の計画に関心をもち、各室の計画の方法や設計への具体化 に意欲的に取り組む態度を養う。	第2節 事務所の計画 1. 事務所の計画 2. 全体計画 3. 全体計画 3. 各本の計画 ・指導事項 事務所の目的や種類、使われ方のほか、配置・平面 等の各計画にあたっての留意事項、事務所を構成す る各室の形式・形態、適正な規模等を示し、事務所 の計画について理解させる。 ・一人1台端末の活用、グループ討議 等	【知識・技能】 事務所の役割・種類、計画上の特質や配置計画、平面計画、 立面・断面計画の留意事項、設計への具体化等を理解してい る。事務所の各室の形式・形態、適正な規模、設備、配置等、 様々な条件に対応した計画方法を理解している。 【思考・判断・表現】 上記の特質、留意事項、各室の計画や設計への具体化等について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 事務所の計画に関心をもち、各室の計画の方法や設計への具 体化に意欲的に取り組んでいる。		0	0	5
	【知識及び技能】 小学校の役割、運営方式、配置計画、平面計画、立面・断面計画 の留意事項、設計への具体化等を理解させる。 小学校を構成する各室の形式・形態、適正な規模、設備、配置 等、様々な条件に対応した計画方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力】 上記の特質、留意事項、各室の計画や設計への具体化等について 思考・判断し、表現できる能力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 小学校の計画に関心をもち、各室の計画や設計への具体化に意欲 的に取り組む態度を養う。	第3節 小学校の計画 1. 小学校の計画 2. 全体計画 3. 各部の計画 ・指導事項 ・学校の目的や種類、使われ方のほか、校地・配置・平面等の各計画にあたっての留意事項、小学校を構成する各室の形式・形態、適正な規模等を示し、小学校の計画について理解させる。・一人1台端末の活用、グループ討議 等	【知識・技能】 小学校の役割、運営方式、配置計画、平面計画、立面・断面 小学校を構成する各室の形式・形態、適正な規模、設備、配 置等、様々な条件に対応した計画方法を理解している。 【思考・判断・表現】 上記の特質、留意事項、各室の計画や設計への具体化等について思考・判断し、表現である。 【主体的に学習に取り組む態度】 小学校の計画に関心をもち、各室の計画や設計への具体化に 意欲的に取り組んでいる。		0	0	5
	定期考査						
3学期	【知識及び技能】 建築物を取りまく環境や、日本の気候や建築物の内部を快適な室 内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通風、伝熱・ 結露等の基本的な事項、必要換気回数や熱貫流率の計算方法、結 露防止の方法等を理解させる。 【思考力、判断力、表現力】 上記の基本的な事項、各種計算等について思考・判断し、表現で きる能力を身に付けさせる。 【学びに向かつ力、人間性等】 室内環境を快適に保つための諸要素や基本的な事項に関心をも ち、各種計算等に意欲的に取り組む態度を養う。	第1章 建築と環境 第1節 建築と環境の概要 第2節 医外環境と室内環境 第3節 換気と通風 第3節 換気と通風 ・指導事項 日本の気候をはじめとした、建築物を取りまく環境について説明し、建 禁物の内部を快適な室内気候にするための諸要素について理解させる。 換気と通風の基本的な事項および計画上の規準について理解させる。 建築物の名部に生じる熱の移動のしくみおよび断熱方法について理解させ。 ・一人1台端末の活用、グループ討議 等	【知識・技能】 建築物を取りまく環境や、日本の気候や建築物の内部を快適 な室内気候にするための諸要素、室内空気汚染や換気・通 風、伝熱・諸震等の基本的な事項、必要換気回数や熱質流率 の計算方法、緒震防止の方法等を理解している。 【思考・判断・表現】 上記の基本的な事項、各種計算等について思考・判断し、表 現できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 室内環境を快適に保っための諸要素や基本的な事項に関心を もち、各種計算等に意欲的に取り組んでいる。		0	0	9
	【知識及び技能】 第5節 日照と日射 第6節 採光と照明 色彩、音響の基本的な事項 第7節 全形図の作成方法、色彩計画の進め方や騒音防止、 造適残響時間の計算方法等を理解させる。 【思考力、判断力、表現力】 記記の基本的な事項や各種計算方法等について思考・判			0	0	0	9
	種計算等に意欲的に取り組む態度を養う。 ・-人1台端末の活用、グループ討議 等 ち、各種計算等に意欲的に取り組んでいる。						合割
	定期考査						67